

課題情報シート

テーマ名 :	人工大地を利用した斜めの関係が進む集合住宅		
担当指導員名 :	細川 英俊	実施年度 :	27年度
施設名 :	近畿職業能力開発大学校附属滋賀職業能力開発短期大学校		
課程名 :	専門課程	訓練科名 :	住居環境科
課題の区分 :	総合制作実習課題	学生数 :	1人
		時間 :	12単位 (216 h)

課題制作・開発のポイント

【開発（制作）のポイント】

従来型の集合住宅ではなく「人工大地」というコンセプトは、集合住宅をひとつの大地に置き換えて見せるという設計を行ったことです。また、プライベートにおける人間関係が希薄になった現代社会を住居から変えていこうというコンセプトを設計に盛り込みました。

【訓練（指導）のポイント】

人工大地とは何か、概念・コンセプトを建築空間の形にするにはどのようなプロセスが必要かということを指導しました。また、建築基準法に基づいた設計の必要性を指導しました。そして著名な建築写真集を紹介して意欲を継続させました。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 近畿職業能力開発大学校附属滋賀職業能力開発短期大学校
住所 : 〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町 1414
電話番号 : 0748-31-2254 (代表)
施設 Web アドレス : <http://www3.jeed.or.jp/shiga/college.html>

課題制作・開発の「予稿」および「テーマ設定シート」

次のページ以降に、本課題の「予稿」および「テーマ設定シート」を掲載しています。

人工大地を利用した斜めの関係が進む集合住宅の設計

滋賀職業能力開発短期大学校

指導教員

細川英俊

近年、近所同士の付き合いが無くなってきていることを知った。特に集合住宅などでは、近隣トラブル等により、仲が悪くなるというデータなども存在している。本制作では、このような近所同士のトラブルなどを改善できるような建築的仕掛けを提案し、この建築的仕掛けを利用し、近隣トラブルを解消でき、近所同士のコミュニケーションが育つような集合住宅を設計した。結果、現存の集合住宅とは大きく違い、人工大地という人工的に作った大地を使った、共有空間が多い、個人のプライベートを確保した集合住宅が設計できた。

Keywords : 斜めの関係, 人工大地, 集合住宅, 子ども

1. 緒言

「人工大地を利用した斜めの関係が進む集合住宅の設計」というテーマの中にある、斜めの関係とは、「親と子ども」、「教師と生徒」のような上下関係がある縦の関係ではなく、同じ視点で物事を見ることができる友達などの横関係でもなく、人生を一步先ゆく先輩のような近所のおじいちゃん、おばあちゃん、学校ではカウンセリングの先生のように子どもたちと同じ目線に合わせて接することができるような立場の人間のことをいう。しかし、近年この斜めの関係が薄れてきているという傾向があり、近所付き合いも無くなってきている地域が多いということを以前参加した近江八幡青年会議所の定例会議で知った。このような問題を改善できる建築的仕掛けを取り入れた集合住宅を設計することとした。

2. 制作過程

☞7月, 8月

敷地調査

想定所在地 栗東駅東口付近
用途地域 商業地域
建蔽率 80%
容積率 500%
面積 2184 m²

☞9月, 10月, 11月

・エスキスを2案作成し、その2案を基に現行案を作成

☞12月

・平面図, 立面図, 断面図, 配置図, スケッチアップでのパース図の作成

☞1月, 2月

・1/50スケールの外観模型作成
・論文作成

3. 設計趣旨

近年、単身赴任者、片親世帯が増加している傾向があり、子どもが1人で留守番する家庭が増加している。このような問題を解決するために、「子どもを地域で育てる」という昔のような地域関係が築かれ、近所のおじいちゃん、おばあちゃんが子どもと関わりが持てるような集合住宅の設計を考えた。そのため、従来の集合住宅とはまったく形状の違う、人工大地を使った形状とした。人工大地を使うことで、集合住宅内に共有空間が増え、吹き抜けによる上下階の繋がりを持たせることができる。また、従来の集合住宅では片方向にのみ窓を設けることしかできない等の採光、通風などの問題がある。しかし、人工大地の形状とすることで、一戸建て住宅のような採光、通風が可能となる。上記のような人工大地形状の利点を活かし、集合住宅内のコミュニティーが子ども中心として育てることができ、片親世帯でも安心して住むことができる集合住宅の設計を進めた。



図1. 斜めの関係

4. 制作物

図面	スケール
☞配置図	1/300
☞平面図	1/100
☞立面図4面	1/100
☞断面図2面	1/100
☞パース図	
模型	
☞外観模型	1/50



図2. 集合住宅1階平面図

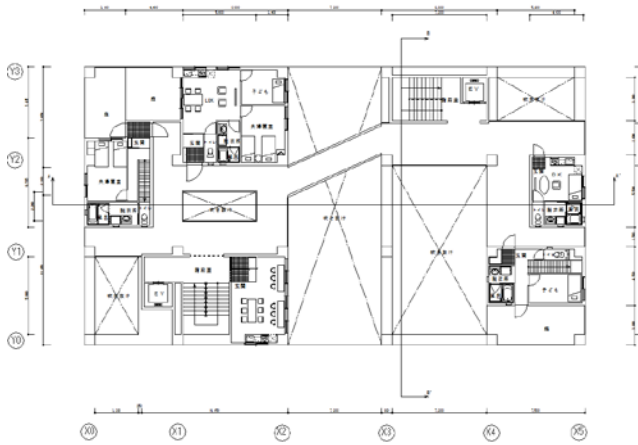


図3. 集合住宅2階平面図

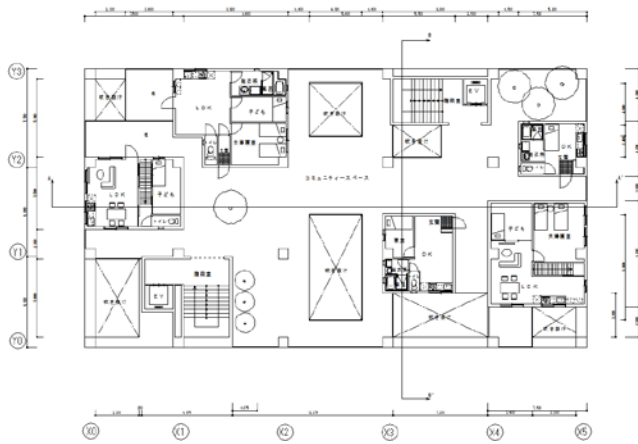


図4. 集合住宅3階平面図

従来の集合住宅とは違い、共有空間に吹き抜けを多く設け、上下階の関係性を大切にしたい。そのため、1階にある子ども広場に太陽の光が入り、この広場は、集合住宅に住む子どもだけではなく、地域の子どもの集まる公園的な存在になるのではないかと考える。また、その正面に位置する階段横の共有部屋は、一面窓になっており、部屋の中から子ども広場全体を見渡せるため、防犯上の面でも安全であると考えている。また、通り掛かりに子どもの姿を見ることが出来るため、近所の大人との斜めの関係も生まれると考えている。

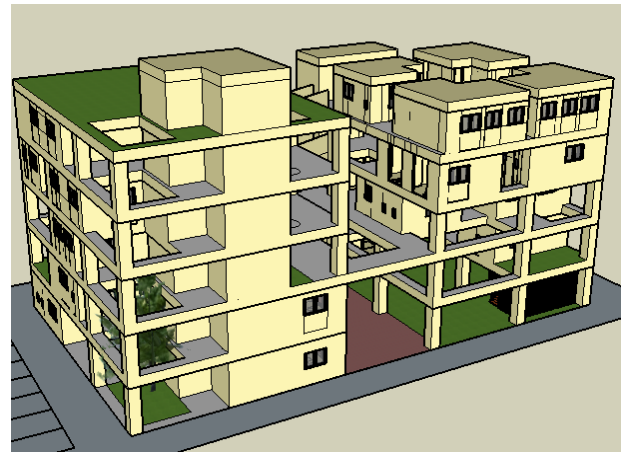


図5. 集合住宅パース図



図6. 1/50 外観模型写真

5. 結言

本制作では、敷地の調査から図面を一通り書くことにおいて設計の難しさを痛感した。今までとは違う形の集合住宅を制作したので、完成形のイメージができず住宅配置や、吹き抜けによる上下階関係などを設計するのに苦労した。そのため、模型に入る前の段階でパース図をスケッチアップ™により作成し、実物に近い形を実際に見て検討し、細部の修正などを行ったため、外観模型の吹き抜けによる上下関係や共有スペースの配置バランスが良くなった。

この集合住宅の建築的仕掛けによってコミュニティを作ることができるかどうかは、実際に住んで調査してみないとわからない。しかし、このような発想が建築物によってコミュニティを作る第1歩になると私は考える。

本制作を通し設計に対する知識の浅さを痛感した。しかし、この2年間で学んだ建築の知識をしっかりと形にして表現できたのは自分の自信に繋がった。次回、設計に携わるときは、本制作の経験を活かし、さらなる向上を目指したい。

課題実習「テーマ設定シート」

作成日：平成27年10月8日

科名： 住居環境科

教科の科目		実習テーマ名	
総合制作実習		人工大地を利用した斜めの関係が進む集合住宅	
担当教員		担当学生	
細川 英俊			
課題実習の技能・技術習得目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・CAD 操作技術を身に付ける。 ・テーマに沿った設計をできる技術を習得する。 ・設計に必要な建築法規の活用方法を習得する。 			
実習テーマの設定背景・取組目標			
実習テーマの設定背景			
<p>・近年、地域の付き合い、つながりが薄れてきているのを知りました。昔は斜めの関係という、上下関係でも横関係でもない地域のおばあちゃん、お兄さんなどが子どもの面倒をみていたそうです。設計調査をしていると建築設計実習Ⅱで同じようなテーマをしていたのでこれを発展させて、よりいいものを作りたいと言う強い気持ちからこのテーマにしました。</p>			
実習テーマの特徴・概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・片親世帯の増加という点に着目して、子どもを地域で育てるような建築的仕掛けを取り入れる。 ・人工大地という人工的に作られた大地の上に建築するというかたちを最大限に活かせる計画をする。 			
No	取組目標		
①	建築設計実習Ⅱで作ったものを吟味して良いところを取り入れる。		
②	人における斜めの関係においてより繋がりができるようなプランを考える。		
③	集合住宅にかかる建築法規に違反しないようにする。		
④	平面図、立面図、断面図等の設計図書を作成する。		
⑤	外観模型を 1/50 で作る。		
⑥	作ったものをパネルにまとめる手法及びプレゼンテーション能力を身に付ける。		
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			